

令和5年度 第4回仙台市立学校事務研究会役員会

日時：令和5年12月13日(水)15:15～

会場：仙台市民会館第1会議室

1 開 会

2 会長挨拶

- ・校種関係なくインフルエンザが流行。体調管理をしっかりと。
- ・研究大会は久しぶりの研究発表。多くの皆さんに参加していただきたい。
- ・宮事研より本年度の合同役員研修会開催を見送りたいと申出があった。
- ・次年度の政令指定都市学校事務研究協議会（新潟市）、第25回東北地区公立小中学校学校事務研究大会（盛岡市）について、人事課に別枠配当をお願いした（これまでは慣例による取扱いだったが、小中校長会と申し合わせて前年度中に依頼することになった）。政令市3名、東北大会4名を計画。人数は分科会の数が基準となる。予算がつくかは2～3月まで分からない（執行額で予算が配当されるため、コロナ後に少なくなっている）。
- ・太白地区臨時研修会を開催する。
12/19（火）14:00～（シグフィの導入、研究会組織見直し、グループトーク）
- ・令和6年度採用試験（令和6年4月1日採用）について、中級・初級合わせて11人採用予定。定年退職者なしのため、複数配置校が増えるのではないかと。

3 参与挨拶（木町通小 島村校長）

- ・事務職員は学校経営、教育目標の実現のため、学校に欠かせない職員。
- ・スクールサポーターの活用について紹介
コロナ対応（消毒業務）が終わったため、第1期で全員退職した。教職員の業務サポートのため第2期の募集をしたところ、1人から応募があり夏休み明けから勤務してもらっている。事務職員に関するものは文書收受、ファイル整理、廃棄文書の整理等。給食費やスーパーバイザー報告、身体測定データ入力や教材備品の整理、丸付け、電話対応等をしてもらい大変助かっている。第3期からは校舎巡視と施錠、学校日誌記録をしてもらう人（1時間勤務）をもう1人募集したいと考えている。

4 協 議

（1）第19回 研究大会について

※市教委後援

※オンライン併用

日時：令和6年1月12日（金） 13:00～受付

会場：戦災復興記念館 記念ホール

内容：講演「学校事務職員からの働き方改革～秘訣は心理的安全性とカエル会議～」
株式会社ワーク・ライフバランス 田川 拓磨 様

青葉地区研究発表

「夢のある学校予算マネジメントをしよう！」

～予算執行計画書の作成意義と、モデルケースの考察～

- ・参加申込状況 参加130人（参集103人、オンライン27人）
欠席55人、未回答40人
- ・縦看板の位置 講演と研究発表の2枚とも上手に並べて吊す。
- ・参加費について、準会員（会職、臨時的任用、再任用、高校）からは徴収しない。
- ・当日11:00集合は役員3人、青葉地区2人（看板設置等準備、機械等リハーサル）。
- ・オンラインの連絡窓口は鈴木副会長。
- ・受付は総務部から1人（参加費の集金が必要な場合は再検討）と泉区が担当。全体の名簿を用意する。

(研修部)

- ・12月26日、市教委文書集配室で研究集録配布作業を行う予定。
- ・当日はオンラインに関わる人は12:00、その他は12:30に集合する。
- ・研修部クラスルームを立ち上げてURLを総務部長に送る。
- ・ワイヤレスマイクはステージ2本、会場2本。青葉地区発表の講評を講師（田川様）にもらう際は、会場の質問者用マイクを講師に渡す（講師が客席にいるため）。講評する位置について、講師に当日相談する。

(青葉地区)

- ・発表用資料と研究集録のカラー資料を、前日までにクラスルームにアップする。
- ・発表用PCの保管：ステージ脇の控室に置くことは可
- ・講演会終了後の発表者6人の待機場所：上手奥のステージ脇
- ・発表者が会場の下見を希望する場合、早い来場及び会議室の使用は可。
- ・会場の照明の明るさ（原稿が読めるか）は、リハーサルで確認する。

(2) 令和6年度総会について

- ・総会の前に役員会があった方がよい。役員会4月、総会5月後半が良いのでは。
- ・総会が5月だと夏季研修に間に合うか？令和5年度は内容を決めていたので間に合った。
→部員の選出が早ければ、なんとかなる（地区総会も同日開催、できればその日に部員決定）。
- ・日程の候補を①5/23、②5/22、③5/15とし、戦災復興記念館の会議室4つ（太白地区を含む地区用）と記念ホールが空いている日にする。
- ・当日の日程は①研修、②総会となる。
- ・研修の内容は役員会で決める。案内文書の発送も。
- ・研修内容の候補：会則、シグフィ、適正化指導
- ・適正指導チームに依頼する場合は内容を指定してお願いすると良い（今年度のポイント等）。

(3) 研究会の見直しについて（会長・副会長）

(会員へのお知らせとお願い文書)

- ・意見の収集方法と期限の順番は①Googleフォームで回答②C4thまたは電話で会長・副会長へ③各地区研究会で設定にする。
- ・見直し（案）の概要に「研究会加入の有無意思確認」は載せない。

※令和6年度総会要項に載せる（会則または内規）。

※令和6年度の夏季研修終了後に確認を行い、10月まで回答してもらう。11月中旬から次年度の役員選考を始める。

※事務研は市教研事務職員部会を兼ねていることを知らない若い会員が多い。コロナ禍に採用された人達は事務研が何かを知らない人もいる。学校間事務連携などと併せて説明する必要がある。

※会長が地区をまわる際に、「あくまでも意見をもらうための案である」という説明をする。

(会則)

- ・「おく」の表記について、「置く」に統一する。
- ・「会員」について追加する（(組織)→(組織・会員)または新たに(会員)）。
- ・入会・退会について、どこかに入れる。

※入会については内規にもない。準会員についても記載なし。

※県教職員互助会の規約を参考に文章を検討する（加入後の取扱いを含む）。

【情報化推進部について】

- ・現段階でなくす、なくさないかは決められない。研究会として求めるものは何かをはっきりさ

せる必要がある。

※元々は「特別委員会」で、情報に関する研究をしていた。

※部長が退職後はどう維持するか。市教委にも認識してもらえるように働きかけをしていく。

※現状としてツールは非会員にも使用を認めている（使わないことによって業務の遅延が生じる可能性があり、使用することが全体の利益となっているため）。意思確認後に非会員が使えなくすることはできないのではないかな。

【役員・役員選考について】

- ・「理事」を削除すると、地区で何かする場合の人をどうするか。一度削ると復活が難しい。
- ・地区がなくなると、役員をどのように決めるのか。役員選考委員が決まらないと直せない。
- ・役員選考委員をどのように選ぶか。

※地区研の役員選考委員は各部から1人、役員から1人出している。部員が手挙げ制、部長推薦だとその人達が役員を選考できるのか。

※持ち回り、名簿（経験年数を考慮して作成）から抽選しても。

※任期を2年とし、半分ずつ入替すると引継ぎが可能。

- ・役員の最長年数を決めておかないと、役員をやめられなくなってしまう。

【調査研究について】

- ・部長は役員選考委員会で決める。公募制グループの相談役となる。

【準会員の取扱い】

- ・現在、準会員の人の取扱いを決める必要がある（会費の徴収等）。

※準会員については会則等に表記なし。これを機になくすか。

- ・定年延長の人の取扱いについても併せて決める必要がある。

（４）その他

5 報 告

（１）各地区報告

青葉地区

- ・12/18 全体研修会

泉地区

- ・12/19 全体研修会（高校にも案内している）

太白地区

- ・12/19 会員・非会員に案内 シグフィ研修（参加23人、欠席14人、未回答11人）

若宮地区

- ・12/7 全体研修会
- ・1/23 役員会

(2) 各部報告

総務部

- ・ 1/12 懇親会

広報部

(部長欠席)

研修部

- ・ 2月に反省会の部会を開催予定

調査研究部

- ・ 12/15 部会

情報化推進部

- ・ 特支就学奨励費ツールのアップデートを配信した。
- ・ 納入管理ツール（Access）はほぼ完成しているが、シグフィ（データ取込）とのすりあわせについて1月に部会を開く予定。
→情報化推進部でツールを作成中であることを地区で伝えて構わない。
- ・ きんむくんの管理一覧表作成を楽にするツールを作成中。

会計

- ・ 特になし

6 その他

次回役員会・・・令和6年2月15日(木) ※総会要項より

仙台市民会館第1会議室

※第3回役員選考委員会を同会場で予約済み

7 閉 会（副会長）

研究会見直しもあるが、まずは令和元年度以来となる研究大会を無事に終われるように皆で協力を。

インフルエンザが流行している。体調管理に気をつけましょう。